

スパイ冤罪二度と許すな・戦争法廃止!

第87回メーデー、リーフ1100枚宣伝

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」とのスローガンのもと、第87回メーデーが全国の311カ所で開催され、16万人が結集しました。「真相を広める会」は、新たに制作した「宮澤・レーン『スパイ冤罪事件』二度と許すまじ!」のリーフレットを東京メーデーで600枚、札幌メーデーで500枚を配布しました。秘密保護法・戦争法を廃止させるために、「宮澤・レーン『スパイ冤罪事件』」の真相をさらに多くの国民に知らせていくことが急務です。引き続き、安倍政権打倒に向けて各地で取り組まれる行動等に参加して、積極的に宣伝していく予定です。

東京

日曜日とあって若ものや外国人観光客も多い原宿駅前。千代田区労協と会員8人で600枚を配布。続いて新聞OBのみなさんと一緒に集会に参加。秘密保護法・戦争法廃止、安倍暴走政治ストップへ決意を固めました。(水久保文明)



3500人が参加した中島公園メーデーで500枚を配布。参加者は「秘密法は許せない」と声をかけてくれました。(根岸正和)



札幌

5.3憲法集会

平和といのちと人権を！ 明日を決めるのは私たち

5月3日・憲法記念日。東京では有明の東京臨海広域防災公園で大集会。昨年の横浜会場を上回る5万人が参加。高校生平和大使をつとめた白鳥亜美さん（現上智大1年）、山口二郎さん、故菅原文太さん夫人・文子さん、むのたけじさんらが挨拶しました。101歳のむのさん、朝日新聞従軍記者経験の悔恨を踏まえて「憲法9条こそ人類に希望をもたらす、とことん頑張ろう」と訴えました。

政党からは、岡田克也・民進党代表、志位和夫・日本共産党委員長、吉田忠智・社民党党首、小沢一郎・生活の党代表が挨拶。小沢代表は「4党が協力して、何としても選挙戦に勝ち抜こう」と強調しました。

集会前、北大内海ゼミ卒有志の山口幸夫、常田武、伊藤陽一さんらが12時半から13時過ぎまで新リーフレット210部を配布してくださいました。

東京湾の一面にある有明会場、強風でしたが、会場いっぱいの参加者の意気は盛んでした。この日、内海ゼミグループ（写真右上）と千代田区労協グループ（写真右下）の二カ所で「真相を広める会」の幟をたてました。内海ゼミの泉定明さんが持つ幟を見た女性が「事件を知っている」と話しかけてくれたそうです。一枚の幟が関心を持ってくれるキッカケになるかもしれません。今後も行動のたびに高く掲げていきたいと思えます。（福島 清）



弾圧が戦争を先導する

「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」学習会

治安維持法犠牲者国賠同盟立川・昭島支部は4月24日、立川市「たましんRISURU」で、「北海道帝国大学の学生とアメリカ人教師への冤罪事件、宮澤・レーン・スパイ冤罪事件を知っていますか？」をテーマに学習会を開催、20人が参加しました。

2014年、NHKが制作した「"スパイ"の妹と呼ば

れて73年目の宮澤・レーン事件」DVDを上映後、宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の概要を報告。そして今、この弾圧の根拠となった軍機保護法を上回る弾圧法規である秘密保護法が強行可決され、さらに戦争法が施行されたことによって、再び冤罪事件が引き起こされる危険性が高まっていることを訴えました。

最後に安倍政権によるマスコミ攻撃の一環である岸井成格TBSキャスターへの攻撃について報告し、秘密保護法・戦争法廃止のために、声を上げ続けようと呼びかけました。（福島 清）